

【シスター・サラとまだらちゃん】

神父様ifルート

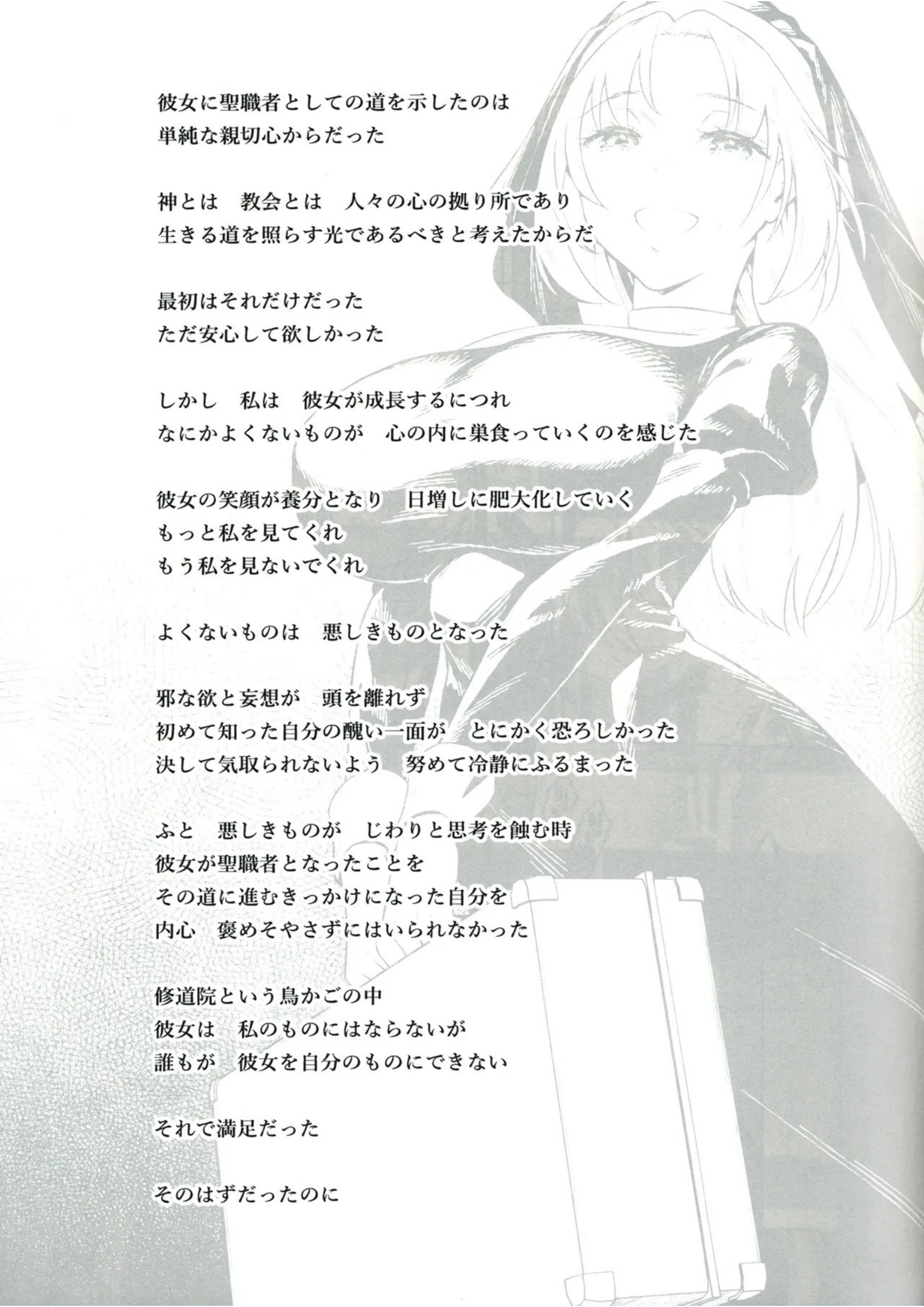
If **Sister Sarah** crossed the line with **the Priest**

presented by **ZJIMUSUBI** 2025 winter

DOJINI
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止





彼女に聖職者としての道を示したのは
単純な親切心からだった

神とは 教会とは 人々の心の拠り所であり
生きる道を照らす光であるべきと考えたからだ

最初はそれだけだった
ただ安心して欲しかった

しかし 私は 彼女が成長するにつれ
なにかよくないものが 心の内に巣食っていくのを感じた

彼女の笑顔が養分となり 日増しに肥大化していく
もっと私を見てくれ
もう私を見ないでくれ

よくないものは 悪しきものとなった

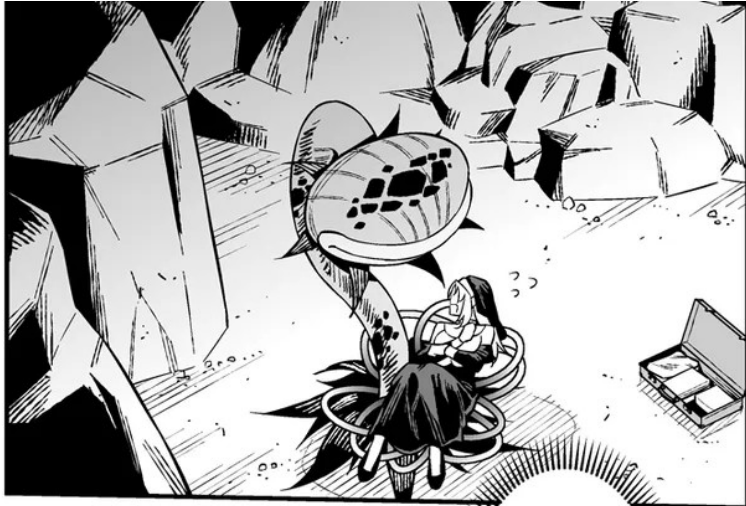
邪な欲と妄想が 頭を離れず
初めて知った自分の醜い一面が とにかく恐ろしかった
決して気取られないよう 努めて冷静にふるまった

ふと 悪しきものが じわりと思考を蝕む時
彼女が聖職者となったことを
その道に進むきっかけになった自分を
内心 褒めそやさずにはいられなかった

修道院という鳥かごの中
彼女は 私のものにはならないが
誰もが 彼女を自分のものにできない

それで満足だった

そのはずだったのに



早く…

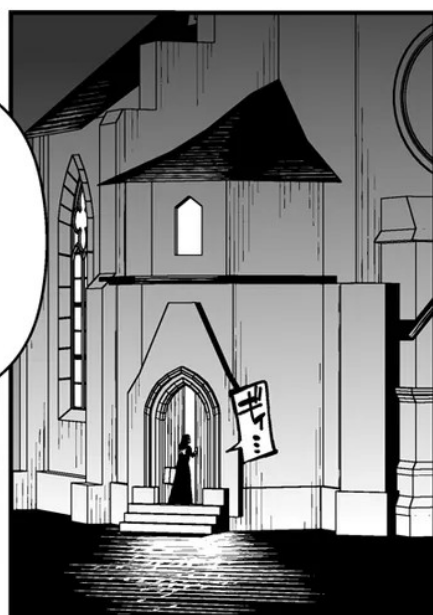
早くここから
離れなくては…!!



神父様…

ずいぶん
遅かったでは
ないですか

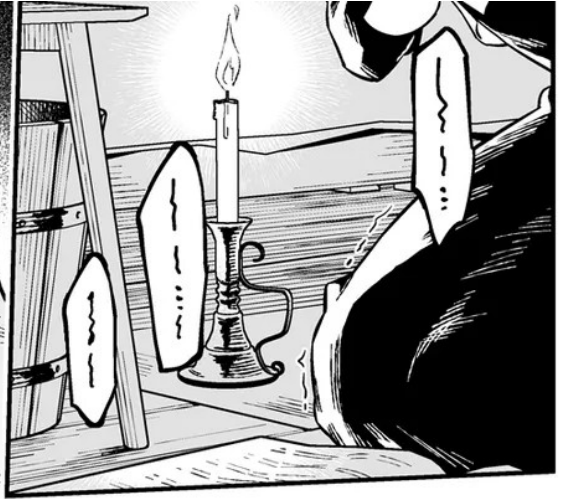
シスター・サラ…!?





すみません
疲れているので
失礼します





忘れなきや...
いけないのに...
忘れなきや...
忘れなきや...

忘れなきや...

神父様!?

ここは
女子寮なのに

部屋の明かりが
見えました

まだ
起きていますね?
シスター・サラ

何か心に
抱えているものが
あるようですが...

よければ告解室で
私にすべて
話してみませんか

もちろん
秘密は守ります

告解室...



なかなか寝付けないだけで…



…体が…その…
火照ってしまった

急いで帰ってきたから…



いえ…
そんな
神父様にお話しするほどのことではありません



…そうですか



いい夢を
シスター・サラ



落ちて着けるよう温かい飲み物を用意しました
これだけでも受け取ってください

ア…



ここに居るのを
誰かに見られたら

神父様でも
咎められて
しまうのに…



ギィ…

もういない…



…今日の

まだらちゃんとの
“あれ”は



よほど心配させて
しまったんですね…

…おいしい

甘くて
とてもいい香り



姦淫

…そういうものでしょう…

神の教えにおいて
姦淫は大罪です…

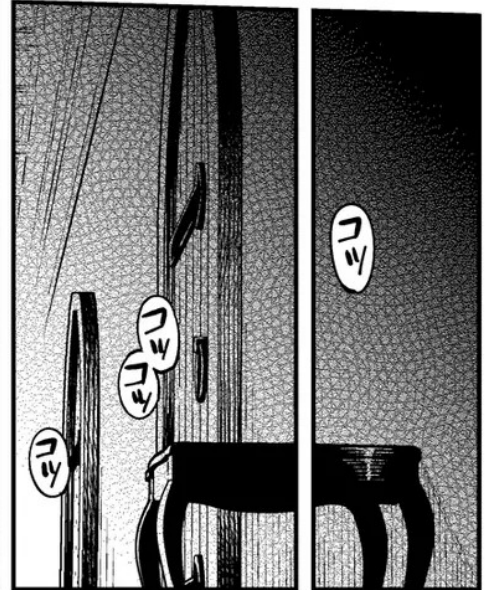
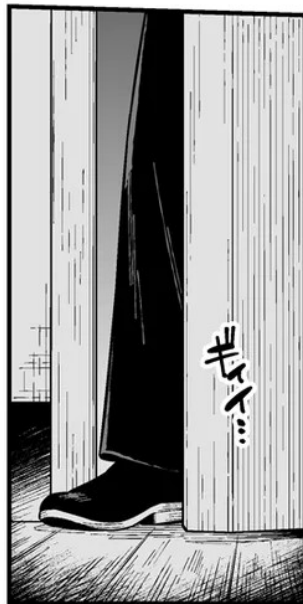
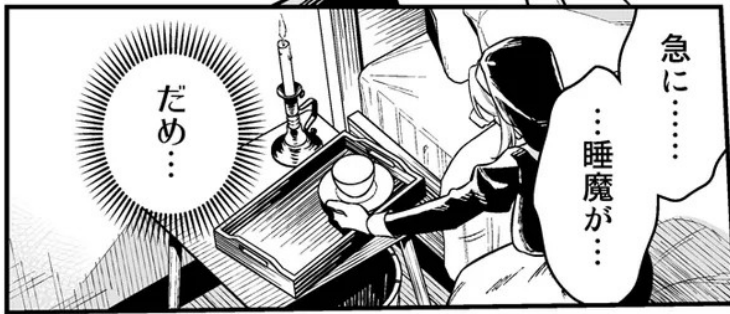
まだらちゃんが
食事のつもり
だったとしても…

私にとっては…

ワグン

ワグン

ワグン







しかし
神父として…
また養父として

あなたの全てを
把握しておきたい

ギョッ

ギョッ



…初めて私に
嘘をつきましたね

サラ

あなたも
大人になったという
ことでしょうか…



隅々まで
検^{もた}めていきますよ



これは…

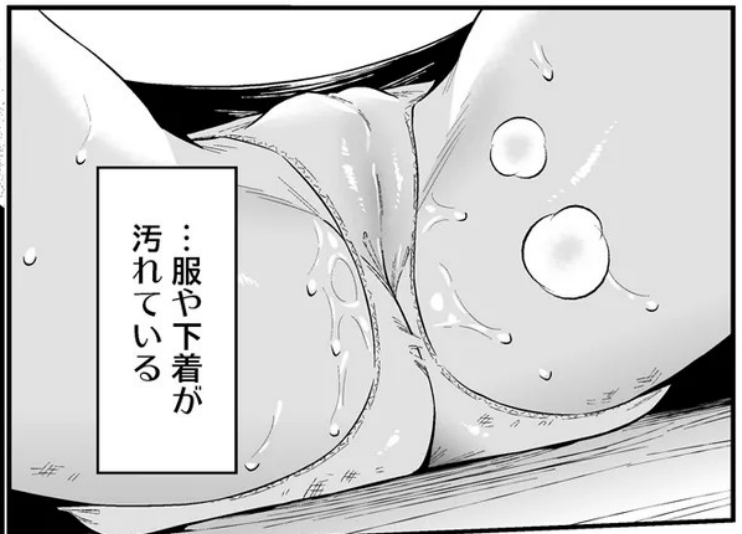
…!



暴漢に
襲われたか…?

包み隠さず
話してくれたら
よかったのに…

やはり一人で
行かせるべきでは
なかった



…服や下着が
汚れている



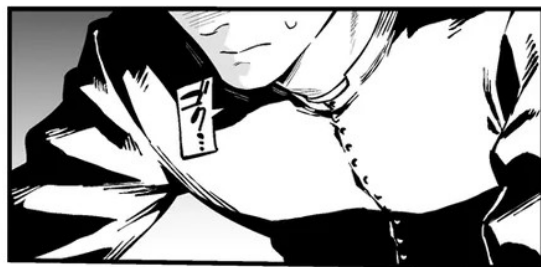
体には
擦り傷もある…





神よ…

女体に触れる
罪を犯すことを
お許しく下さい…



なんて熱さだ…



粘液が
止めどなく溢れて
絡みついてくる



やわらかく
解れていて

何の抵抗もなく
指の侵入を許す…





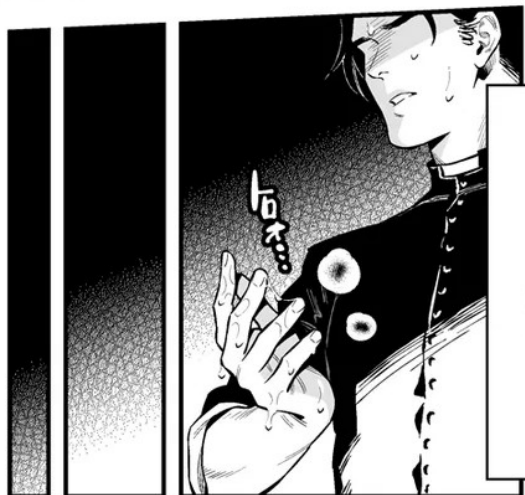
ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

クワッ
クワッ

クワッ

クワッ



私の知っているサラは
どこにもいない……

…もう



クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

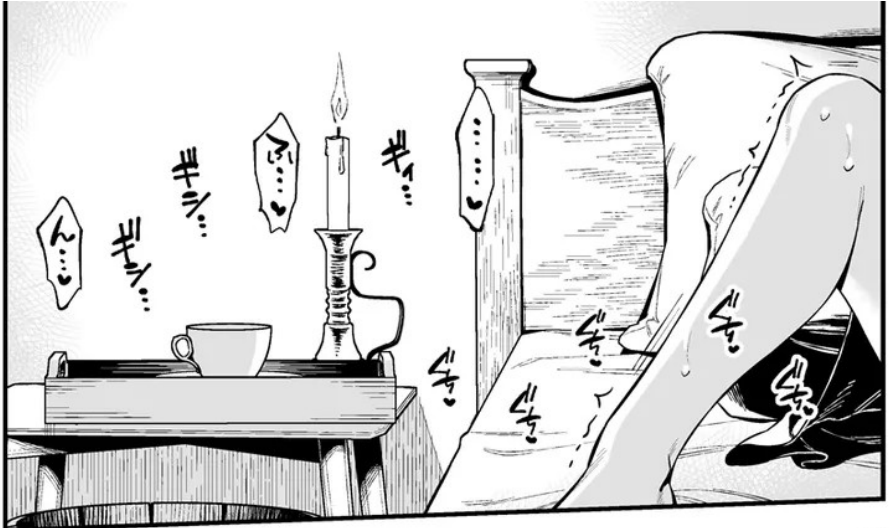
クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ





神よ…

どうして
このような試練を
与えるのですか



この身を
切る思いも
報われないのなら



本懐を遂げて
しまおうか



いっそ
聖職者である
ことなど忘れて

ただの
男と女になって



は...

は...は...は...

は...

あああ...あ...

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ



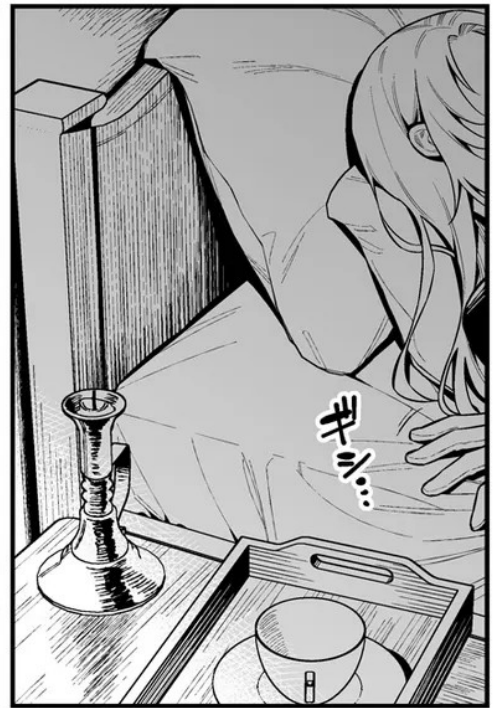
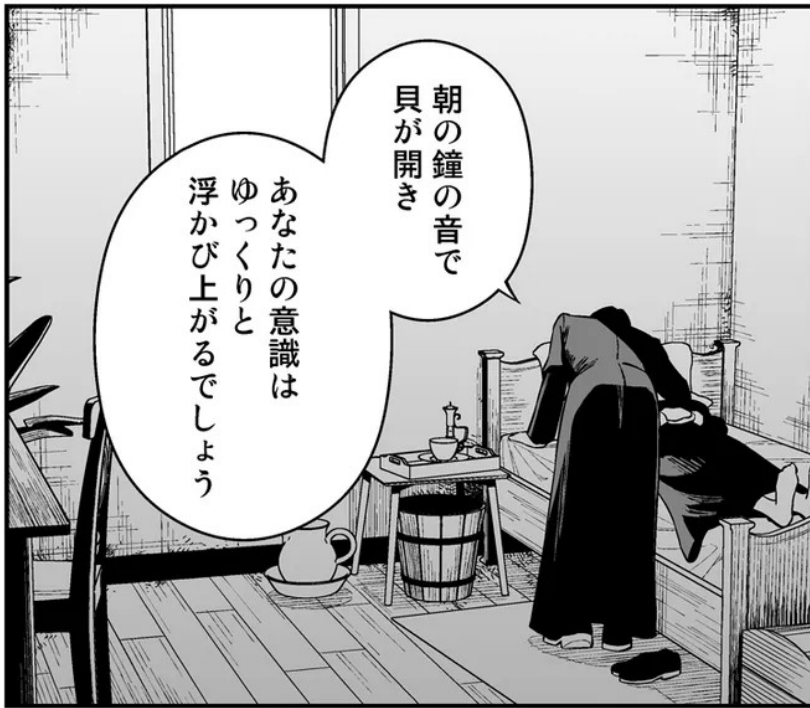
は...は...は...

だめだ...
それだけは...

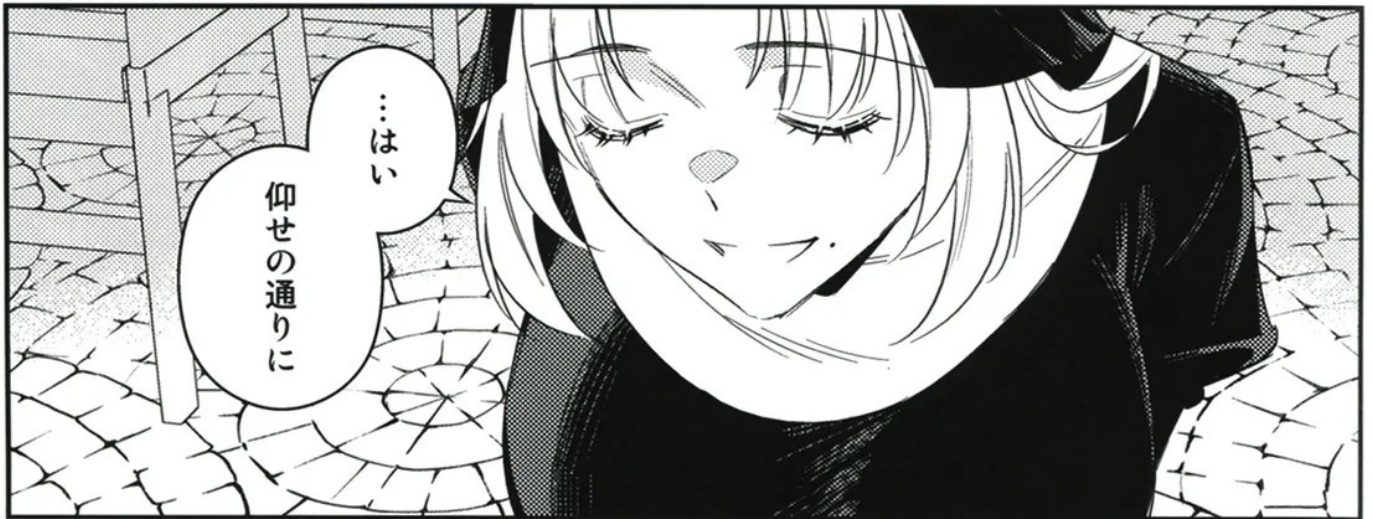
私まで外道に
身を落としてしまう...

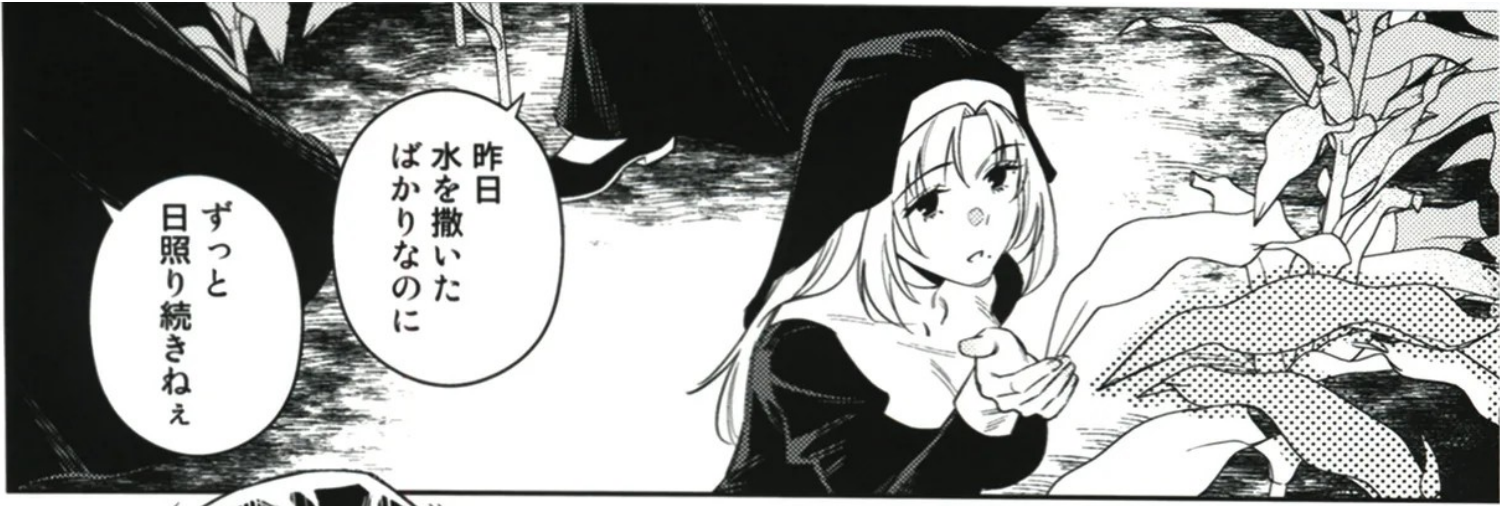
...いや.....
薬を盛ってまで
姦淫してる私も

同じ穴の貉だ









昨日
水を撒いた
ばかりなのに

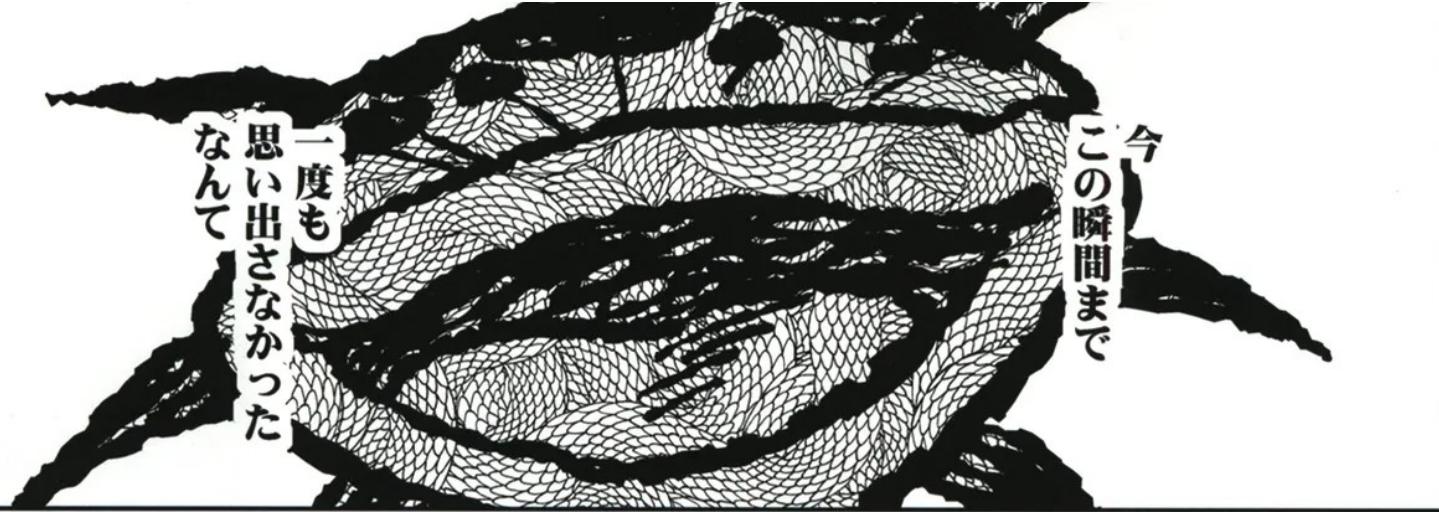
ずっと
日照り続きねえ



まだらちゃんのこと
を忘れてた…？

うそ…
どうして…!?

わたし…



今この瞬間まで

一度も
思い出さなかった
なんて



え、
シスター・サラ…!?



おかしい…
こんなの…

まるで呪い^{まじな}を
かけられた
ような…



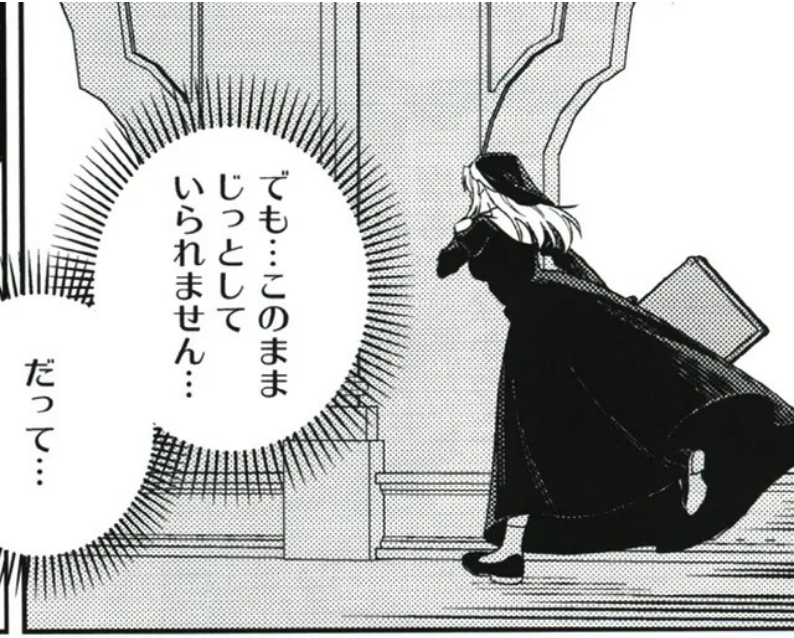
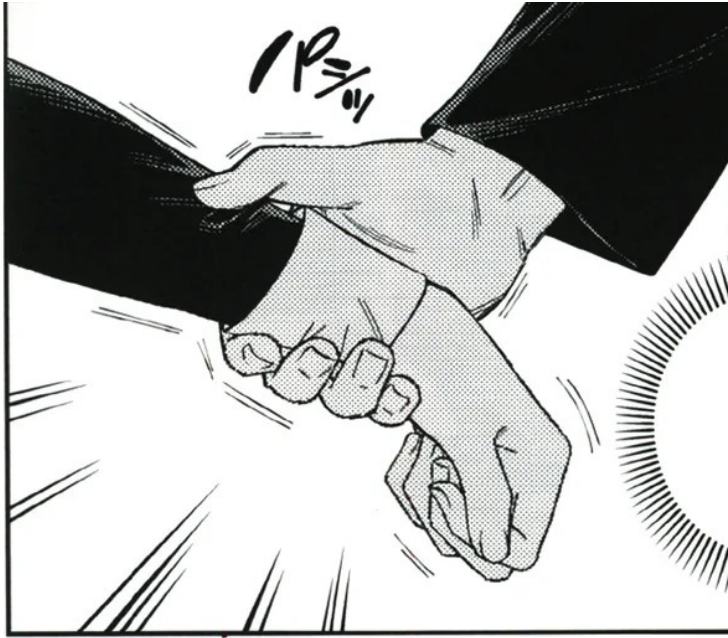
キッ

また会いに
行こうとしてる

逃げてきたのに



バサッ



だって…

でも…このまま
じっとして
いられません…



ここでは神父様にしか
できないものだから



私にかけられた呪い^{まじな}は



シスター・サラ

どこへ
行くつもりです

※シスターは掴まれた手を振り払い
神父様に一抹の不信感を抱えたまま
まだらちゃんの方に向かうのでした
そして本編へ…

【シスター・サラとまだらちゃん】

神父様いルート

If **Sister Sarah** crossed the line with the **Priest**

presented by **ZJIMUSUBI** 2025 winter

発行者 二次結び / 大野かなえ

発行日 2025年12月31日

印刷 booknext

Mail (mauhakage@gmail.com)

Pixiv (id=480273)

Twitter / X (@2jimsubi)

*違法アップロードおよび18歳未満の閲覧・購入を固く禁ず

